

分が犯罪を実行しようとする時には、その人々は決して組織犯罪者の邪魔をしないことになります。こうした事態が、アメリカとかアルゼンチンとかの国々では世代を越えて踏襲されています。イタリアやアメリカでの組織犯罪の典型的な例では、ボスのいる人的結合関係が継承されます。アフリカでは、こうした例はなく、よくある組織犯罪は特定の対象に狙いを絞った単純なものなのです。

5. むすびに

犯罪組織は、多くの場合、若者を目標として引きずり込みます。そこで、一つ教訓めいたことを申しますが、かの高名なイギリス人シェクスピアは、その劇作の一つの中で、言っております。「名誉と恥は人々の中にあるものですが、それなくしては容易に犯罪に染ってしまう」のです。これは東南アジアの国から生まれた宗教にも深く関わることです。私はナイジェリアの出身ですが、日本とナイジェリアにもいくつかの共通した文化的側面を観察することができます。私の名前はオビですが、日本にも同じ発音の「帯」があります（オビ博士は、ナイジェリアの民族衣裳を装っておられたが、それは日本の和服に似ていた）。

ような人々が汚職・金銭授受の対象になっているという現実起因しております。

3. アフリカの組織犯罪の特質と植民地支配の歴史

アフリカの組織犯罪には、極めて特有な側面があります。その理由は、アフリカの全ての国々が、かつて一度はヨーロッパの植民地になっていたという歴史的事実に由来します。第二次世界大戦後、これらの国々はヨーロッパの宗主国から独立を要求しました。その独立時に、旧宗主国のヨーロッパの国々は、アフリカの国々に経済的援助の約束をしました。それは、アフリカの国々が従来持っていなかった商品についてのものでしたが、そのヨーロッパから到来した業者がアフリカの国々の多方面に賄賂を贈るという事態を招いたのです。例えば、自動車道路の建設ということになると、これを地元企業が受注したいのですが、賄賂を受領した政府はヨーロッパの企業に発注するという現象が発生している。その政府その官僚や政治家たちは、ヨーロッパの企業からの多額な金銭に対応して、これをヨーロッパの銀行に振り込ませるのです。その結果、ハイウェイの建設費は極めて高額になりますが、実際に必要な費用はその半分位でしかないのです。しかしながら、こうした組織犯罪に対抗する措置をとっている国がアフリカにもいくつかはあります。例えば、ナイジェリア・ガーナ・ナミビア・南アフリカ等では、このような犯罪に関与した政府の高官や政治家が刑罰を受けて実際に投獄されるという事態になっています。

4. 人の支配と法の支配

組織犯罪について、極めて一般的かつ世界的に妥当することは、「人の支配」つまり「法によらない支配」であるということです。それは、果してどんなことでしょうか。すなわち、予め政府の高官・公務員・警察官や裁判官などに賄賂つまり汚職のために金を与えておくと、いざ自

Ⅰ アフリカの組織犯罪 ——旧植民地と人の支配・法の支配——

Dr. Obi N. I. Ebbe, Prof.

(ニューヨーク州立大学)

1. はじめに

私は、オビ・エッベです。アメリカのニューヨーク州立大学のブロックポート・キャンパスから参りましたが、大学では刑事司法論と犯罪学の講座を担当しています。西アフリカのナイジェリアで生まれ、1973年に大学に入るためにアメリカに渡り、そこで学士・修士そして1981年に博士の学位を取得しました。

本日の私の講演は、アフリカにおける組織犯罪についてです。

2. 組織犯罪の諸形態と有害性

組織犯罪は、幾人かの個人が結集して一定の犯罪を行うわけですが、その形態は実に多様です。例えば、コカイン・マリファナなどの薬物を違法に輸入したり、自動車の盗取、また自動車からのガソリンの抜き取り、また少女を誘拐して売買するという手口もあります。アフリカでは、その国々の主要な産物に応じて犯罪の形態・手口も実に多様なのです。

特に企業犯罪に関する組織犯罪は、非常に危険な型の犯罪でして、アフリカ各国の広範な分野に深刻な影響を及ぼしております。現在では、各国の市民で企業犯罪の悪い影響を受けていない人はありえない、といっても過言ではありません。その理由の一つは、企業犯罪で富んだ者は税金を支払わないという点に求められます。何よりも重要なのは、企業犯罪は強い政府を決して望まないという点です。企業組織犯罪は、まさに政府自体を支配しようとするのです。例えば、政治家・公務員等に対する贈賄によって、司法手続全体が無力化してしまうのです。アフリカで企業組織犯罪が非常に多く見られるのは、こうした政治家・警察官の